

北海道港湾空港建設協会

会報

平成26年 5月

北のみなと

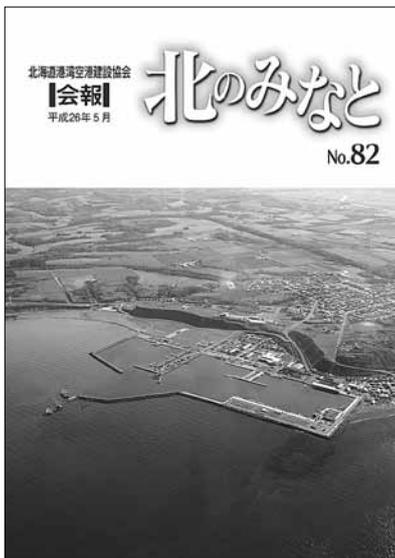
No.82



— 目 次 —

Report

北海道港湾空港建設協会 第29回通常総会開催	1
平成25年度 安全管理講習会	3
開会挨拶 (北海道港湾空港建設協会 会長 宮崎 英樹)	
「港湾工事の安全対策について」 (北海道開発局港湾空港部港湾建設課 建設第2係長 西澤 英樹)	
「建設業における労働災害防止について」 (北海道労働局労働基準部安全課 地方産業安全専門官 息才 正)	
特別講演『元気なからだを保つために～「胃腸の話」「お酒の話』」 (全国健康保険協会北海道支部 保健師 内田 直子)	
平成25年度 港湾空港工事報告会	5
開会挨拶 (北海道港湾空港建設協会 会長 宮崎 英樹)	
来賓挨拶 (北海道開発局港湾空港部 港湾建設課長 梅沢 信敏)	
工事報告「函館漁港防波堤改良その他工事」(株松本組 工事課長 堀 儀之)	
「苫前漁港建設工事」(堀松建設工業(株) 土木部長 山崎 正宏)	
「苫小牧港西港区東防波堤改良工事」(みらい建設工業(株) 工事課長 富岡 良光)	
特別講演『厳しい気象・海象の海域における大型作業船の回航について』 (岩倉建設(株) 土木部工事長 三浦 洋一) (一財)日本気象協会北海道支社 防災対策室 西村 修一)	
講 評 (北海道港湾空港建設協会 技術委員会副委員長 宮本 義憲)	



苫前漁港は、留萌管内のほぼ中央に位置し、日本海有数の好漁場である武蔵堆を近傍に控え、道内外イカ釣り外来船の基地として利用される第3種漁港です。

本漁港では、浅海から沖合まで各種漁業が営まれており、船外機船から大型エビ籠漁船まで大小様々な漁船に利用されています。

主な漁業種類は、ホタテの養殖、カレイ刺網、イカ釣り、タコ箱、エビ籠であり、これらで全漁獲量の9割程度を占めています。(※留萌港湾:ホームページより抜粋)

各種記事

我が社の安全衛生管理 (道南綜合土建(株) 工事部部長 齊藤 昌聡)	8
私の趣味「雑感」～スポーツの素晴らしさ～ (白鳥建設工業(株) 堀松 誠)	10

Topics

鷺泊港新フェリーターミナル供用開始	12
石狩湾新港の取扱貨物量が過去最高	13
釧路港国際バルク新規着手決まる 物流ターミナル整備	14
クルーズ船 威容に歓声	15
苫前漁港で凧あげ大会を開催する	16

Information

事務局だより	17
業界だより	17
広報委員会だより	17

北海道港湾空港建設協会 第29回 通常総会開催

RHH13/H0'

b/H0'

当協会の第29回通常総会は、平成26年4月17日（木）ホテル札幌ガーデンパレスで開催した。全会員数84社のうち69社に出席をいただき、平成25年度の事業報告・収支決算および監査報告、会費の改定、平成26年度の事業計画（案）・収支予算（案）、についていずれも原案どおり承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、宮崎会長をはじめとする全役員が再任された。



第29回通常総会



宮崎英樹会長 挨拶

26年度事業計画については、引き続き安全管理講習会や工事報告会、北海道開発局等発注機関への要望及び意見交換などに取り組んでいくことを確認した。

冒頭、あいさつに立った宮崎英樹会長は、「北海道において港湾や漁港、空港は根源的な社会資本であり、着実な整備、維持・更新、防災・減災対策が極めて重要だ」と強調。地域経済や雇用確保を支えるとともに、災害対応の重要な担い手として、「建設業界の役割がますます重要になっていることを自覚しなければならない」とし、「港湾空港建設業としての社会的重要性を認識し、期待

される役割を果たすため、諸活動を推進したい」と述べ、会員各社の協力を求めた。



北海道開発局川合紀章港湾空港部長 挨拶

来賓あいさつでは、北海道開発局の川合紀章港湾空港部長が本年度の事業概要を示し、早期発注に努める考えを説明。国土交通省が3月に示した「新たな国土のランドデザイン」骨子案にふれ、「公共事業を行うものにとって、長期的な事業の見通しが重要」と述べ、北海道の産業や経済への好影響を期待した。また、不調・不落対策にふれるとともに、受発注者間のコミュニケーション向上のため、事務所単位での意見交換会を開催し、「港湾工事等の円滑な執行に協力いただきたい」と呼びかけた。



日本港湾空港建設協会連合会川嶋康宏会長 挨拶

日本港湾空港建設協会連合会の川嶋康宏会長は、過日発生した係留施設築造工事における労災にふれ、「ことし5月の総会では、安全について語り合う会にしたい」と述べ、安全確保に向けた一層の意識向上を求めた。

議事では、25年度事業報告・収支決算、26年度事業計画・収支予算について、いずれも原案どおりに承認・決定した。役員改選では、全役員が再任となった。

平成26年度 事業計画

1. 講習会等

1) 安全管理講習会の開催

港関係7団体の共催で安全管理講習会を開催する。

2) 港湾空港工事報告会の開催

港湾空港建設技術の開発、向上を目的とし、会員が施工した港湾、漁港、空港工事について、施工、品質、管理等の報告会を開催する。

3) シンポジウム等への参画

港湾空港建設技術を開発、向上させ、港湾空港建設業の社会的地位の向上と健全な発展を図るとともに港湾空港整備の促進に寄与するため、関係行政機関、関係団体と連携してシンポジウム等の事業に参画する。

2. 要望及び意見交換

1) 北海道開発局等に対し港湾空港関係予算及び実施に関する要望及び意見交換を実施する。

①港関係7団体の共催で要望・意見交換会を開催する。

②日本港湾空港建設協会連合会との共催で要望・意見交換会を開催する。

2) 北海道港湾振興団体連合会の一員として港湾整備促進及び利用振興活動に参画する。

3. 調査研究

港湾空港建設技術の開発、向上に関する調査研究及び資料の収集並びにその他工事の施工等に関する事項について調査検討を行う。

4. 会報の発刊

港湾空港建設業の社会的地位の向上に関する宣伝及び啓発等を目的として会報誌「北のみなど」を3号程度編集し発刊する。

5. 日本港湾空港建設協会連合会の事業参加

日本港湾空港建設協会連合会が開催する会議等に参加する。

(記事は、「北海道通信」から一部抜粋して掲載しました)

平成25年度 安全管理講習会

RHH13/H0'

b/H0'

日時 平成26年2月27日(木) 9:30~12:00

場所 ホテルポールスター札幌

主催 北海道港湾空港建設協会 (一社)北海道建設業協会港湾・漁港部会
(一社)日本埋立浚渫協会北海道支部 (一社)日本海上起重技術協会北海道支部
全国浚渫業協会北海道支部 (一社)全日本漁港建設協会北海道支部
(一社)日本潜水協会札幌支部



講習会 全景

「安全対策を再確認」

港湾関係7団体が 安全管理講習会開く

北海道港湾空港建設協会(宮崎英樹会長)、(一社)北海道建設業協会港湾・漁港部会(坂敏弘会長)など道内の港湾関係7団体は2月27日ホテルポールスター札幌で二十五年度安全管理講習会を開催した。各団体の会員

企業から約百人が参加。港湾工事における安全対策を再認識するとともに、健康面も含めた安全衛生管理のポイントを学んだ。



宮崎会長の挨拶

両協会のほか（一社）日本埋立浚渫協会北海道支部、（一社）日本海上起重技術協会北海道支部、全国浚渫業協会北海道支部、（一社）全日本漁港建設協会北海道支部、（一社）日本潜水協会札幌支部の主催。七団体を代表してあいさつに立った北海道港湾空港建設協会の宮崎英樹会長は、作業船を用いた海上で施工するという環境

に言及し、「作業船から落ちたり、機械の誤操作で事故を引き起こさないように」と要請。「一旦事故を起こすと、厳しい措置があるので、そういうことにならないように」と呼びかけた。

このあと、北海道開発局港湾建設課の西澤英樹第2係長が「港湾工事の安全対策」、北海道労働局安全課の息才正安全専門官が「建設業における労働災害防止」について講演。西澤係長は、同局における災害事例をもとに原因と再発防止対策を示し、事故防止への取り組みを求めた。



西澤係長



息才安全専門官



内田氏

特別講演では、健康管理をテーマに講習。全国健康保険協会北海道支部で保健師を務める内田直子氏が「元気なからだを保つために～胃腸のお話、お酒の話」と題し、健康管理のポイントを紹介した。

平成25年度 港湾空港工事報告会

日時 平成26年2月27日(木)
場所 ホテルポールスター札幌
主催 北海道港湾空港建設協会

平成26年2月27日(木) ホテルポールスター札幌において、当協会主催の「平成25年度 港湾空港工事報告会」を開催した。報告のあった3件の工事は、当協会技術委員会が平成24年度に完成した工事の中から、工程管理などに優れ、工事成績評価点の高い工事を対象に選定している。



第27回港湾空港工事報告会

主催者挨拶



主催者挨拶 宮崎会長

開催にあたり主催者を代表して宮崎英樹会長は「この報告会で報告いただいている工事は、ユニークな現場、難易度の極めて高い現場など様々で、各社ご苦労されている。今日は報告を聞き、今後の参考にさせていただきたい」と挨拶し、この場で学んだことが現場で生かされるよう期待を寄せた。

来賓挨拶



来賓挨拶 梅沢港湾建設課長

続いて北海道開発局港湾空港部 港湾建設課 梅沢信敏課長から挨拶をいただきました。

梅沢課長は「今回報告される3件の工事は、平成25年度北海道開発局優良工事表彰を受賞した、他の模範になる工事である」と述べるとともに、各工事の概要と表彰された推薦理由について説明があった。

工事報告

工事報告は、(株)松本組施行の「函館漁港防波堤改良その他工事」、堀松建設工業(株)施行の「苫前漁港建設工事」、みらい・豊浦経常JV施行の「苫小牧港西港区東防波堤改良工事」の3件で、施行各社の担当者が工程管理の工夫、厳しい施行条件への対応、関係機関との調整、安全管理などの取組についての報告があった。

●函館漁港防波堤改良その他工事



株式会社 松本組
工事課長

堀 儀之 氏

- 請負者 株式会社 松本組
- 工期 平成24年3月28日～平成25年3月29日
- 発注者 函館開発建設部
- 工事内容
 - 石積防波堤改良 南側 約10m、北側 約105m
 - 構造物撤去工
 - 間知石撤去
 - 基礎ブロック撤去
 - 中詰石撤去
 - 基礎工
 - 基礎石投入
 - 基礎ブロック製作・据付
 - 中詰工
 - 中詰石
 - 石積工
 - 製作・据付（間知石・馬踏石等）
 - 付属工
 - 灯台修復、係船石設置

●苫前漁港建設工事



堀松建設工業株式会社
土木部長

山崎 正宏 氏

- 請負者 堀松建設工業株式会社
- 工期 平成24年7月25日～平成25年3月22日
- 発注者 留萌開発建設部
- 工事内容
 - 5.0m泊地浚渫 (A = 1,244㎡、2,437㎡)
 - 土捨工、クラブ浚渫工、土運船運搬工、揚土土捨工
 - 2.5m泊地浚渫 (A = 1,536㎡、1,036㎡)
 - クラブ浚渫工、土運船運搬工、揚土土捨工
 - 2.5m物揚場 (A部 74.24m、B部 91.21m)
 - 構造物撤去工、床掘工、基礎工、本体工、裏込工、裏埋工、埋立工、上部工、排水構造物工、舗装工
 - 道路 (A路線 106.35m、C路線 31.98m)
 - 土工、路盤工、縁石工、舗装工、排水構造物工、縁石工、舗装工、区画線工
 - 荷捌地背後道路 (89.22m)
 - 構造物撤去工、土工、路盤工、排水構造物工、縁石工、舗装工、区画線工
 - 北防波堤
 - ケーソン製作・据付・仮置 4 函
 - 石かご製作 50個
 - 20T型消波ブロック製作 50個

●苫小牧港西港区東防波堤改良工事



みらい建設工業株式会社
工事課長

富岡 良光 氏

- 請負者 みらい・豊浦経常建設共同企業体

- 工期 平成24年3月27日～平成25年3月4日
- 発注者 室蘭開発建設部
- 工事内容
 - 長周期対策工（72.6m）
 - 撤去工
 - ブロック撤去
 - 基礎工
 - 基礎捨石投入、捨石荒均し、石かご製作・据付
 - 被覆・根固工
 - 被覆ブロック製作・据付
 - 消波工
 - 消波ブロック製作据付
 - 上部改良工（145m）
 - 撤去工
 - ブロック撤去、既設上部撤去
 - 上部工
 - 上部コンクリート打設
 - 消波工
 - ブロック据付
 - 雑工
 - 骨材再生

業船（FD12,000t積み）を能取漁港から網走港を經由し釧路港まで（約214湮）回航するに当たって検討した事項及び気象・海象情報の収集、活用について解説した。

続いて西村氏から回航を実施するのに必要な、気象・海象予測情報の提供内容や予測方法及び予測精度について解説した。

記念品贈呈



記念品贈呈

工事報告・特別講演終了後、工事報告者3名に技術委員会 中村弘之部会長から記念品が贈呈されました。

特別講演



岩倉建設 三浦工事長

日本気象協会 西村氏

特別講演は、岩倉建設株式会社土木部 三浦洋一工事長と一般財団法人日本気象協会北海道支社防災対策室 西村修一氏が「厳しい気象・海象の海域における大型作業船の回航について」と題し講演した。

三浦工事長は気象・海象条件が不安定な11月に大型作

講評



講評 宮本副委員長

最後に技術委員会 宮本義憲副委員長から、報告のあった各工事についての感想と丁寧な報告をしていただいた3名の報告者へお礼を述べ工事報告会を終了した。

我が社の安全衛生管理

道南綜合土建株式会社 工事部部长 齊藤昌聡

1. はじめに

当社は、昭和41年2月創業以来、今年で48年を迎え、胆振地方を中心として港湾工事をはじめ土木全般、公共施設の維持管理、運送事業と幅広く事業展開を行っています。基本精神『企業は人なり』に基づき、安心して安全に健康で快適に働く職場環境と働き甲斐のあるヤル気・元気のでる作業環境の確立を目指し、安全衛生管理活動を行っています。

2. 安全衛生方針

当社は、『安全衛生管理体制を確立し、全従業員の協力のもと持ち場・立場で自主的に安全衛生活動に取り組み、安全衛生水準の向上を目指す。』を基本方針とし、安全衛生活動を展開しております。

3. 安全衛生管理計画

安全衛生管理計画の基本は、当社の労働安全衛生システムに基づき、前年度の労働安全衛生活動での報告事項、及び過去の労働災害事例を参考に重点施策事項・実施項目を年度別に設定しています。また、安全衛生基本方針に基づき、店社・作業所、さらには協力会社とも一丸となり、自主的な安全衛生管理活動の促進に努め、安全と健康を確保し、継続的改善により、安全衛生の向上を図っています。

実施項目

- ① 安全重点項目（三大災害、交通災害）の徹底した安全管理。
- ② 安全衛生管理体制の活性化を図り、役割・責任・権限を明確にする。
- ③ 安全衛生教育を計画的に実施し、安全意識や危険予知能力を高める。
- ④ 安全で快適な職場環境づくりと心身の健康保持・増進を図る。

4. 安全衛生管理活動

①安全大会

毎年5月に全社員と協力会社参加のもと安全大会を開催しています。初めに社長の訓示、優秀安全標語作品の表彰後、前年度の反省及び今年度の安全衛生管理目標の説明がされます。また、警察署、外部講師により講話をいただき、最後に参加者代表が安全宣言を行い、安全意識の高揚を図り「無事故・無災害」を誓います。



道見社長の訓示

②安全朝礼

毎月、月初めに全社員及び協会社社が参加し、本社にて安全朝礼を行います。朝礼では、社長からの訓話、常務取締役より安全講話の後、スローガン及び安全標語の唱和を行い、安全意識の高揚を図っています。



安全朝礼の実施

③店社パトロール

毎月1回、総務・営業・運送部門の各役員による現場パトロールを実施しています。パトロールでは、現場の担当者とは違った視点で、普段は現場従事者が見逃しているような危険の芽を摘み取るよう社内チェックリストをもとに実施しています。パトロール終了後に総評を行い、良い点・悪い点を指示し、指摘・改善事項があった場合は直ちに是正させます。



店社パトロールの実施

④安全教育訓練

各作業所において、重点工種の着手前に外部講師を招き、6時間の安全教育を実施しています。教育内容は、机上での教育や実際の作業箇所での作業環境に適した教育となっています。また、安全に関する情報（事故情報、災害事例、安全講習会資料等）を入手した場合は、各作業所へ提供し教育資料として活用しています。



安全教育訓練の実施

⑤日常安全衛生管理

積算・安全・原価管理システムを導入し、積算データと連携することで作業毎の危険有害要因をスピーディーに特定し、日常の安全管理書類をデータベース化して教育資料としても活用しながら、日常の安全管理業務の効率化を図っています。

5. むすびに

昨年は、2020年にオリンピックが東京で開催されることが決定し、長らく低迷が続いていた建設業界にとって大きな変化が表れることが予想されています。その変化に対し柔軟に対応のできるよう、組織の充実化を図り、安心安全な企業を築けるよう努力してまいります。

私の趣味

『雑感』 ～スポーツの素晴らしさ～



白鳥建設工業(株)
堀 松 誠

【はじめに】

私は感動することが好きです。映画、TVドラマ、小説や歌、私たちの日常には多くの心を動かされる物事が溢れています。40歳を過ぎて何事にでも涙もろくなってきた私が、最近最も感動した出来事といえばソチオリンピックです。特別これといった趣味が無い私なので、ありきたりですがスポーツの素晴らしさに触れてみたいと思います。

【感動のソチオリンピック】

「羽生結弦、金メダル！日本男子フィギュア初！」、一口に感動と言っても多くの種類があります。羽生君の場合とはにかく圧巻でした。ショートプログラムは世界歴代最高得点の100点超えで完璧な演技でした。私も一人の日本人としてとても誇らしい気持ちになりました。

レジェンドと呼ばれたスキージャンプの葛西選手からは、続けることの大切さと素晴らしさを改めて学ぶことが出来ました。長い年月の中で道具の規定が変わったりしても、その都度勉強と改善を繰り返し、進化しながら今なお現在進行形で続けている姿には、敬意を払うとともに会社経営

をしていく中でも参考にさせていただく部分がたくさんあります。



スノーボードハーフパイプの平野君、平岡君二人の若いメダリストからは、ワクワクする頼もしさを感じました。小さいころ（まだまだ少年ですが）から世界を飛び回り多くの大会にも参加してきている二人には、物怖じしない逞しさが私には好感が持てました。きっとこれから世界で活躍する日本人は、この子達みたいな子が増えてくるかもしれませんね。

そしてやはり一番心を動かされたのは、女子フィギュアの浅田真央選手です。あのフリーの演技には自然と涙が流れて・・・今この文章を書いているだけでも泣きそうになります。あれこそが、スポーツの素晴らしさだと思います（表現が乏しくてすみません）。



【これからの楽しみ】

私にとって平成26年はスポーツの楽しみな年です。田中マー君やダルビッシュのいるメジャーリーグも楽しみですが、私は中学までサッカー小僧だったのでやはりブラジルで行われるサッカーワールドカップが待ち遠しいです。



私の中学時代を考えれば、日本がワールドカップに出場するなんて夢のような話だったので、改めて時代の移り変わりには驚かされます。同時に世界の名門クラブで活躍する長友、香川、本田ほか多くの日本人が世界中のクラブで活躍しています。こんな状況はマンガの中だけで、きっとこれからも、今以上の日本人選手が世界中で活躍する時代になるでしょう。そしていつか日本代表がワールドカップを掲げる日が来るかもしれません。このように夢を見ることができるのも、スポーツの良さですよ。

【最後に】

私には二人の息子がいますが長男は、この春から高校生として札幌の学校で大好きな野球を続けます。思えば野球経験のない私ですが、時間のある時はキャッチボールの相手をしてきました。会話は無くても長男の表情や立ち振る舞いで、その時の気持ちが少し伝わってきたような気がします。これもスポーツの素晴らしさの一つかもしれませんね。



今年からはサッカー小僧である次男のパス練習の相手をしたいと思います。アキレス腱を切らないように頑張ります。

鴛泊港新フェリーターミナル供用開始

鴛泊港フェリーターミナル「海の駅おしどまり」の供用式典は3月22日、同ターミナル内で盛大に挙行政。田村祥三利尻富士町長はじめ、来賓、工事関係機関から150人が出席。利尻島の新たな表面玄関の誕生を祝った。

旧ターミナルは昭和58年夏から供用開始。観光入込みピーク時の平成15年には年間、延べ50万人が利用。しかし、供用から30年が経過し老朽化が進み、更にバリアフリー・耐震化も施されていないなどのため、島の玄関口の「一新」が望まれ、平成24年3月末に待望の新ターミナル工事に着手した。

新施設は旧ターミナル跡地に建設。鉄筋コンクリート2階建てで、延べ床面積は2,077㎡。一番の特徴として稚内を含む利札航路はじめ道内離島では初のボーディングブリッジを採用。このほか、島内初のエスカレーターや、救急搬送用ストレッチャーが入る大型エレベーター、授乳室やキッズコーナーなどが入るバリアフリー対応旅客施設で耐震化も万全。

式典では、みなとオアシス登録証・海の駅認定証授与式に続き、来賓代表と鴛泊保育所児がテープカット。田村町長を先頭にボーディングブリッジの渡り初めが行われた。

(記事は日刊宗谷から抜粋して掲載しました)



新ターミナル全景



みなとオアシス登録証授与



テープカット

石狩湾新港の 取扱貨物量が過去最高

石狩湾新港管理組合の取りまとめで、平成25年の石狩湾新港の取扱貨物量が前年比17.4%増の約473万トンと、平成6年の開港以来、最多となった。輸出入総額も約1,185億円で、初めて1千億円台を突破した。

主要因は、液化天然ガス（LNG）の増加で、LNG含む石油類が前年比63%増の約218万トンと、取扱量全体の46%を占めた。北海道ガスが石狩湾新港に造った石狩

LNG基地が平成24年11月に稼動し、LNGをサハリンなどから輸入しているためと見られている。

また、外貿コンテナ貨物の取扱個数が前年比9.5%増の44,260個（20フィートコンテナ換算）と、こちらも過去最多を記録した。内外貿別では、輸出入が約263万トンで前年比20%増。移出入は約210万トンで前年比14.8%増となった。

（記事は北海道新聞から抜粋して掲載しました）



LNG船の接岸状況（中央地区）



コンテナ取扱状況（中央水路地区）

釧路港国際バルク新規着手決まる 物流ターミナル整備

国土交通省の交通政策審議会港湾分科会は3月12日、国際バルク戦略港湾の釧路港で-14m岸壁などを整備する西港区第2ふ頭地区国際物流ターミナルについて、2014年度の事業着手を了承した。総事業費は182億円で、整備期間は17年度までの4年間とした。

国際バルク戦略港湾は、船舶の大型化が進む石炭、鉄鉱石、穀物のバルク貨物（ばら積み貨物）の分野で国際的な競争力を確保するため、国内11港を選定し、パナマックス級など大型船舶に対応した施設を集中的に整備する成長戦略の一環。

釧路港は、国内の主要港湾の中でも穀物の最大の輸入元である北米から距離が最も短い点などが評価され、11年度に穀物分野で指定された。今回事業着手が決まった

ことで、釧路港の機能向上と船舶の大型化に伴う飼料原料の輸送コスト低減により、背後地の道東地域で畜産経営の競争力が高まると期待される。国際バルク戦略港湾では小名浜港に次いで2番目、穀物分野では釧路港が初めての事業化となった。

計画では、釧路港西港区第2ふ頭の先端に栈橋を設け、延長300mの-14m岸壁を整備する。港外から岸壁への航路は同じ水深で浚渫。泊地と航路の浚渫面積は25.9haに上る。このほか、穀物を荷揚げするアンローダー2基を設置する。事業費の内訳は、-14岸壁mが49億円、航路と泊地の浚渫が約94億円、荷役機械が約40億円となっている。

（記事は北海道建設新聞から抜粋して掲載しました）



釧路港西港 第2ふ頭全景



クルーズ船 威容に歓声

今年初の釧路寄港

釧路港に今年寄港するクルーズ船のトップを切って、米国の会社が運航するフォーレングラム（6万1214トン）が4月19日、市中心部の耐震旅客船ターミナルに着岸した。街の情報案内などをする市民ボランティアが乗客を出迎える中、多くの見物客も訪れた。

フォーレングラムは15日に横浜を出航し、30日にカナダのバンクーバーへ到着する行程で、ドイツ人やカナダ人ら約1300人が乗船。全長約240メートルの巨大な船体が姿を現すと、訪れた市民から「大きいなあ」などと歓声が上がった。

岸壁ではアイヌ民族の衣装をまとった釧路国際交流ボランティアの会のメンバーが乗客を出迎え、付近には釧

路の情報を提供するコーナーが設けられ、ガイド役の市民が英語で対応した。着岸場所に近い釧路フィッシャーマンズワーフMOOでは、同会が着物や折り紙などの体験コーナーを設置。着物で周辺を散歩したインドネシア人のマリアさんは、「幣舞橋がロマンチックだった。とても国際的な街だ」と喜んだ。国際交流ボランティアの会の横山博子会長は「クルーズ船寄港は街の活性化につながる」と期待。フォーレングラムは19日夕、米国アラスカ州に向け出港した。

釧路港に今年寄港するクルーズ船は25隻で過去最多となる見込み。（記事は北海道新聞から抜粋して掲載しました。）



苫前漁港で 凧あげ大会を開催する

第22回北海道凧あげ大会・第41回苫前町凧あげ大会が、2月23日苫前漁港の高台にある「とままえ温泉ふわっと」とその周辺で開かれた。苫前町内や美深町、猿払村などから個人やグループ合わせ約240人が出場。143基の手づくり凧が参加して、道北地方の冬の風物詩を堪能した。

この大会には、苫前地域マリプロジェクトチームや留萌市の堀松建設工業(株)、三協建設(株)、白鳥建設工業(株)の3社合同チームが大凧づくりと大凧あげに挑戦した。この日は風が弱く、一般凧や連凧は大空高く舞い上がったものの、大凧は風を見ながらの挑戦となり残念ながら一度も大空に舞うことはなかった。



苫前地域マリプロジェクトチーム



留萌市の港湾建設会社合同チーム

◎事務局だより◎

1. 常任理事会の開催

平成26年3月12日（水）

ホテル札幌ガーデンパレスで開催しました。

議題

1. 日本港湾空港建設協会連合会運営委員会の報告について
2. 平成26年度北海道港湾空港建設協会通常総会議案について
3. 平成26年度北海道開発局港湾関係功労者の表彰推薦について
4. 平成26年度日本港湾空港建設協会連合会通常総会代議員について
5. その他

2. 理事会、通常総会の開催

平成26年4月17日（木）15：30～

ホテル札幌ガーデンパレス

3. 日本港湾空港建設協会連合会総会の開催

平成26年5月14日（水）

明治記念館

4. 広報委員会の開催

- 1) 平成26年2月21日（金）
広報誌「北のみなと82号」編集について
- 2) 平成26年3月14日（金）
広報誌「北のみなと82号」編集について
- 3) 平成26年4月18日（金）
広報誌「北のみなと82号」編集について

5. 安全管理講習会の開催

平成26年2月27日（木）9：30～

ホテルポールスター札幌

6. 港湾空港工事報告会の開催

平成26年2月27日（木）14：00～

ホテルポールスター札幌

◎業界だより◎

◎会員代表者の交代

●大成建設(株)札幌支店

執行役員支店長 今 憲昭 平成26年4月

●(株)安藤・間 札幌支店

支店長 柳瀬ひろし 平成26年4月

●ハラダ工業(株)

代表取締役社長 藤野徹弥 平成26年4月

●(株)チスイ 札幌事務所

技術顧問 清野公輝 平成26年4月

◎広報委員会だより◎

平成26年5月現在の広報委員は次表のとおりです。

今後ともよろしくお願いします。

委員長	佐見 誠	東亜建設工業(株)
副委員長	白川 隆司	東洋建設(株)
委員（部会長）	小山 良明	白鳥建設工業(株)
（副部会長）	志賀 保	五洋建設(株)
（副部会長）	東 志郎	萩原建設工業(株)
	大西 治朗	菱中建設(株)
	櫻庭 榮	(株)中田組
	荒井 直人	東亜建設工業(株)
	毛利 照男	釧石工業(株)
	渡辺 修司	(株)菅原組
	大倉 正憲	勇建設(株)

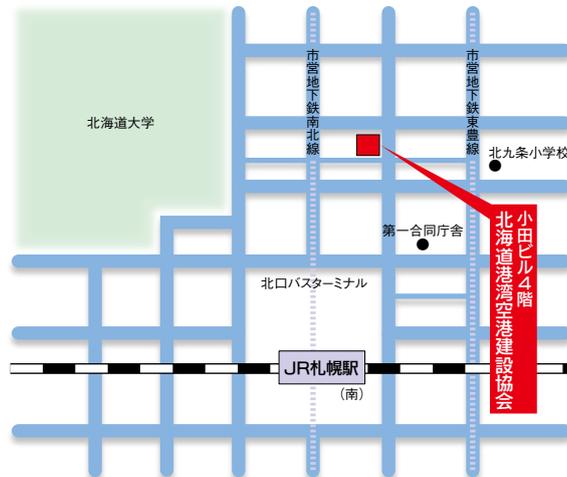


ほたて稚貝陸揚げ(苫前漁港)



屋根付き岸壁陸揚げ(苫前漁港)

北海道港湾空港建設協会 案内図



会報「北のみなと」No.82

発行年月 平成26年5月
 発行 北海道港湾空港建設協会 会長 宮崎 英樹
 札幌市北区北9条西3丁目10-1 (小田ビル4階)
 TEL (011) 707-4731 FAX (011) 707-4733
<http://www.hokkaido-kkk.jp>
 Email: hkkk@h4.dion.ne.jp
 編集 北海道港湾空港建設協会 広報委員会
 編集責任者 小山 良明
 印刷 須田製版